



学校だより

# 子どもの未来をみんなで創る

平成 29 年 4 月号

神奈川県立相模原中央支援学校

～七年目がスタートしました～

開校七年目を迎えた本年度は、274名の子どもたちと178名の職員でスタートをきりました。開校よりの基本理念「子どもの未来をみんなで創る」を念頭に、「命を預かり命を返す」という視点と「子どもの成長と学びにとって何が必要なのか」という視点を持ちながら、引き続き「安全で安心できる」学校づくりを心がけて行きます。

また、特別支援学校学習指導要領等の改訂が間近に控えている中、本年度は、そこに焦点を合わせた組織づくりや、教育活動の検討と見直しを始めます。今回の学習指導要領改訂における「学びの連続性」、「障害の特性等に応じた指導上の配慮の充実」、「自立と社会参加に向けた教育の充実」等のキーポイントを意識し、昨年度に引き続き、「アセスメント」による子どもの状況把握や「授業改善」、「他学部他部門との共同学習」等に取り組んでいきます。併せて、開校当初よりの地域とのネットワークを十分活用しながら「地域とともにある学校づくり」を一層推進していきたいと思ひます。

本年度もよろしくお願いいたします。

校長 片岡 充彦

## ご入学、ご進級おめでとうございます

今年も校内の桜の花が満開となりました。駐車場のある前庭の桜は南側だけになってしまいましたが、大きく広げた枝が、子どもたちの進級と入学をお祝いしているようでした。新1年生の入学、そして在校生のそれぞれの進級、おめでとうございます。

新学期が始まり、新しい友だちができた皆さんもいるでしょう。新しい先生とは仲良くなれたのでしょうか。これからの毎日、楽しい学校生活になるよう、先生たちもみなさんと仲良くなれるようにと思っています。

皆さんは今年の目標を決めているのでしょうか。勉強をがんばろう、部活動をがんばろう、友だちをたくさん作ろう、新しい先生と仲良くなろう、いろいろあるかもしれません。学校生活を楽しく過ごすことや、今年は何をやろうと決めてチャレンジしてみることは、大切だと思います。ぜひ、がんばってください。

新学期で環境が変わって、戸惑うこともあるかもしれません。春の不安定な天候では、体調が整いにくいこともあるかもしれません。無理せずゆっくりと学校になじんでいってほしいと思います。今年も相模原中央支援学校は、毎日皆さんを待っています。

保護者の皆様におかれましては、今まで同様にご理解とご協力をお願い申し上げます。

教頭 菅原 肇



